

掛川市子ども・子育て支援に関するニーズ調査について

1. 調査の目的

掛川市では、子ども・子育て支援法に基づき、5年を一期とする「掛川市子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度に策定いたしました。この計画は、平成31(2019)年度が最終年度となることから、このたび2020年度を始期とする「第二期掛川市子ども・子育て支援事業計画」の策定するにあたって、子育ての環境、教育・保育・子育て支援の現在の利用状況及び利用希望などを把握するため、お子様をお持ちのご家庭を対象に無作為抽出により、ニーズ調査を実施する。

2. 調査対象（前回調査と同様）

掛川市在住の未就学児のいる家庭1,500世帯及び小学1～3年生のいる世帯1,500世帯（無作為抽出）

3. 調査方法（前回調査と同様）

(1) 未就学児

- ・ 市内の保育園・幼稚園・認定子ども園等に通園している子どものいる家庭は、市から施設を通じて調査を行う。
- ・ 市内の保育園・幼稚園・認定子ども園等に通園していない子どものいる家庭は、郵送にて調査を行う。

(2) 小学生

- ・ 市が学校を通じて調査を行う。

4. ニーズ調査票（案）の主な修正点

(1) 未就学児童用

頁	設問	内容
2	問 11-1	選択肢に「保育士」、「幼稚園教諭」と別々にあったものを「園の先生」の1つに修正。
21	問 39	かけっこを利用したことがない理由を伺う設問を追加。

(2) 小学1～3年生用

- ・ 主な修正なし

5. 調査スケジュール

	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3
調査票作成	●————●						
調査期間				●————●			
回収・分析				●————●			
まとめ・報告						●————●	

掛川市

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成27年度から5年間を一期とする「掛川市子ども・子育て支援事業計画」を策定し推進してきました。この計画が平成31年度に終了することから、新たに「第二期掛川市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市民の皆様の子育ての環境、教育・保育・子育て支援の現在の利用状況および今後の利用希望などを把握するために本調査を行います。

この調査は、市内にお住まいの就学前児童のいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた1,500人の方にご協力をお願いするものです。

なお、お答えいただいた内容は、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございません。ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成30年12月
掛川市長 松井 三郎

◆◇ ご記入にあたってのお願い ◇◆

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. なるべく子育てをしているご家族が話し合ってお答えください。
3. ご記入にはおおむね30分程度かかります。
4. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合がございます。
5. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。（○は1つ）（○はいくつでも可）などの注意書きに従ってください。また、「その他」等をお選びいただいた場合はその後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
7. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
8. 記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、平成30年12月19日(水)までに各園のクラス担任の先生へ提出してください。
9. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

回答するに当たってお読みください

掛川市では、平成27年度（2015年度）から子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています。

本調査は、2020年度を始期とする第二期計画で、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を掛川市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

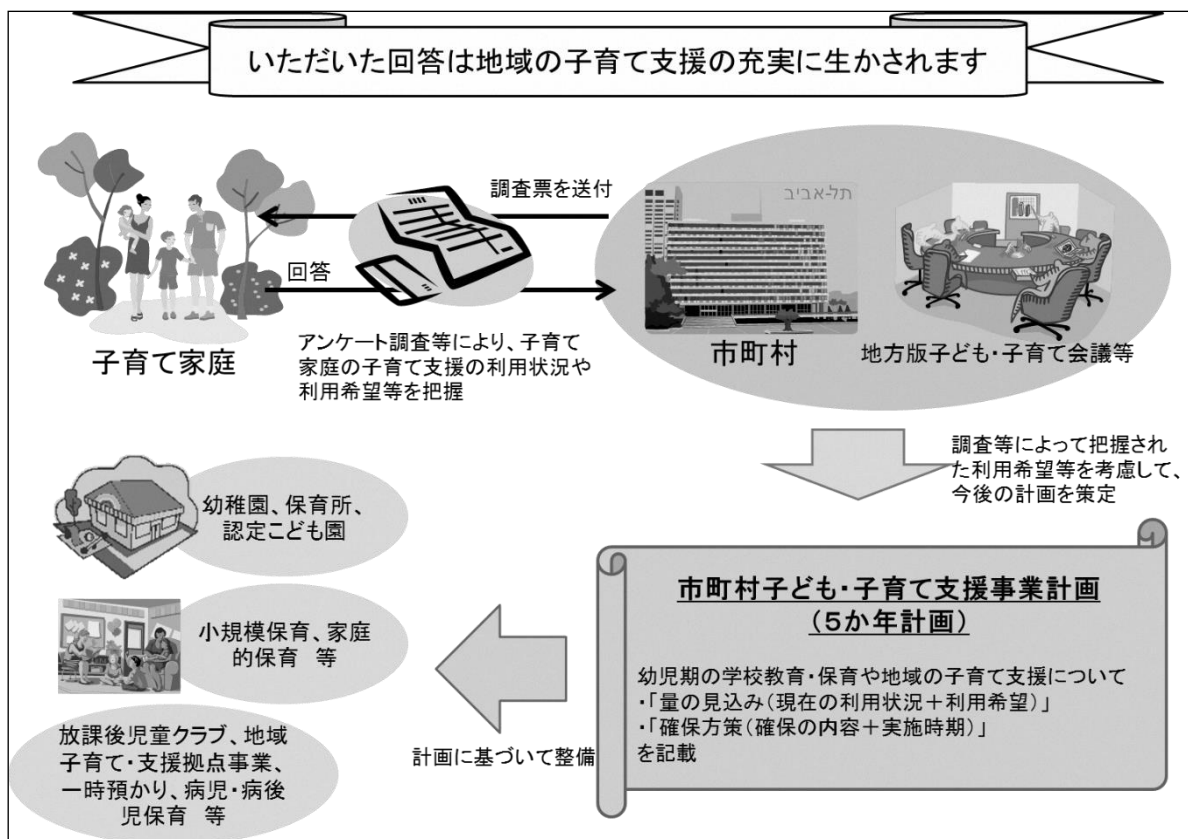
なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。この制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者の子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。



●お住まいの地域について

問1 お住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

1. 第一小学校区・中央小学校区
2. 上内田小学校区・西山口小学校区
3. 第二小学校区・曾我小学校区
4. 西郷小学校区・城北小学校区・倉真小学校区
5. 日坂小学校区・東山口小学校区
6. 桜木小学校区・和田岡小学校区・原田小学校区・原谷小学校区
7. 千浜小学校区・大坂小学校区・土方小学校区・佐東小学校区・中小小学校区
8. 横須賀小学校区・大淵小学校区
9. わからない(具体的に:)

●封筒の宛名のお子さんをご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月を教えてください。(数字は一枠に一字)

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。※宛名のお子さんが末子の場合もご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 宛名のお子さんと同居・近居(普段よく使う交通手段で概ね30分以内程度で行き来できる範囲)の状況を教えてください。(○はいくつでも可)※例)祖父母同居の場合は4. 5にも○

- | | | | |
|----------------------|--------------------|--------------------|------------|
| 1. 父母同居
(単身赴任者含む) | 2. 父同居
(ひとり親家庭) | 3. 母同居
(ひとり親家庭) | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 | 7. 祖母近居 | 8. その他 () |

問5 この調査票にご回答いただいている方を教えてください。(○は1つ)
※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)
※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | | | |

●子どもの育つ環境について

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
(○はいくつでも可)※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | | | |
|----------|--------|-----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他 () |

●宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 (○は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(1) で「1」から「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

→ (1) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む、休憩休息時間を含まない)」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(数字は一枠に一字)

1週当たり 日 1日当たり 時間

→ (1) -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

(数字は一枠に一字)

家を出る時刻 時台 帰宅時刻 時台

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 (○は1つ)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(2) で「1」から「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

→ (2) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む、休憩休息時間を含まない)」をお答えください。

就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(数字は一枠に一字)

1週当たり 日 1日当たり 時間

→ (2) -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

(数字は一枠に一字)

家を出る時刻 時台 帰宅時刻 時台

問12の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問14へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問15へお進みください。

問14 就労したいという希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→(1)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等
⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→(2)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等
⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

●宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している

2. 利用していない } → 問15-8へ

問15-1～問15-7は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

→問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（○はいくつでも可）
※掛川市内の施設はP22別表を参照

1. 幼稚園（幼保園幼稚園部を含む、通常就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. 療育機関（めばえ・みなみめばえ 等）
13. その他（施設名等）

→問15-2 上記で選んだ事業を利用している理由をお答えください。（○はいくつでも可）

1. 幼稚園（幼保園幼稚園部を含む）に通わせたいため
2. 幼稚園の預かり保育を利用すれば、幼稚園に通わせられるため
3. 保護者の就労等の都合で保育所（幼保園保育園部を含む）に通わせたいため
4. 認定こども園に通わせたいため
5. 幼稚園（幼保園幼稚園部を含む）に通わせたいが、保護者の就労の都合で保育所（幼保園保育園部）を利用している
6. 認可保育所（幼保園保育園部を含む）に通わせたいが、定員に空きが無いので幼稚園に通わせている
7. 認可保育所（幼保園保育園部を含む）に通わせたいが、空きが無いのでその他の施設を利用している
8. その他（

→問15-3 幼稚園・保育園を利用する上で重視するものは何ですか。（○は2つまで可）

1. 教育内容・保育内容（子どもの教育や健全な心身の発達支援）
2. 教育時間・保育時間
3. 園の物的環境（施設の快適性、園児の人数規模、園庭の広さなど）
4. 園の所在地（利用しやすい位置）
5. 保育料
6. その他（

問15-4へ

利用していない

利用している

→問15-4 現在の保育料は、上記問15-1の教育・保育内容等に比べてどう感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 教育・保育内容等に見合っている | 2. 教育・保育内容等に比べて、安く感じる |
| 3. 教育・保育内容等に比べて、高く感じる | |

問15-5 平日定期的に利用している教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 (□ □ 時 ~ □ □ 時)

(2) 希望

1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間 (□ □ 時 ~ □ □ 時)

→問15-6 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(○は1つ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 掛川市内 | 2. 他の市区町村 |
|---------|-----------|

→問15-7 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由を教えてください。(○はいくつでも可)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 子どもの教育や発達のため |
| 2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労しているため |
| 3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中であるため |
| 4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護しているため |
| 5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害があるため |
| 6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生であるため |
| 7. その他 () |

問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

→問15-8 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも可)

※該当する□内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

- | |
|---|
| 1. 子どもの教育や発達のことを考え家庭でみているため |
| 2. 子どもの保護者がみているため |
| 3. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため |
| 4. 近所の人や父母の友人・知人がみているため |
| 5. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがないため |
| 6. 利用したいが、申込みの要件を満たしていないため |
| 7. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないため |
| 8. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないため |
| 9. 利用したいが、近くにないため |
| 10. 子どもがまだ小さいため (□ 歳くらいになったら利用しようと考えている) |
| 11. その他 () |

すべての方にうかがいます。

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(○はいくつでも可)
※なお、これらの事業の利用には、現段階では一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。
※掛川市内の施設はP22別表を参照

1. 幼稚園(幼保園幼稚園部を含む、通常就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
12. 療育機関(めばえ・みなみめばえ 等)
13. その他()
14. 利用希望はない

問16で「1」から「13」(利用希望がある)に○をつけた方にうかがいます。

→問16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)

1. 掛川市内
2. 他の市区町村

問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3」から「13」にも○をつけた方にうかがいます。

→問16-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

→問16-3 「定期的な教育・保育の事業」を利用する上で重視するものは何ですか。(○は2つまで可)

1. 教育内容・保育内容(子どもの教育や健全な心身の発達支援)
2. 教育時間・保育時間
3. 園の物的環境(施設の快適性、園児の人数規模、園庭の広さなど)
4. 園の所在地(利用しやすい位置)
5. 保育料
6. その他()

●宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（○はいくつでも可）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. つどいの広場（市内2ヶ所）
（つくしなかよし広場 上内田にこにこひろば）
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度
2. 子育て支援センター（市内10ヶ所）

ちびっこ館（桜木こどもの森）	おひさま（子育てセンターひだまり）
さやのもり（子育てセンターさやのもり）	あいあい（掛川こども園）
こあら（こども広場あんり）	パンダひろば
わいわいランド（千浜保育園）	はじめのいっぽ（おおぶち保育園）
きしゃぼっぼ（掛川中央幼保園）	はなえみ（子育てセンターとものもり）

 1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度
3. 児童館・児童交流館（市内3ヶ所）
（掛川児童交流館 大東児童館 大須賀児童館）
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度
4.

問17で「4. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

→問17-1 利用していない理由は何ですか。つどいの広場（A）、子育て支援センター（B）、児童館・児童交流館（C）それぞれについてお答えください。（○はいくつでも可）

	A つどいの広場	B 子育て 支援センター	C 児童館・ 児童交流館
①場所が遠いので利用しづらい	1	1	1
②開催時間や日数が利用しづらい	2	2	2
③知人がいないので行きづらい	3	3	3
④知らなかった	4	4	4
⑤利用する時間がない	5	5	5
⑥利用の仕方がわからない	6	6	6
⑦親同士の付き合いがわずらわしい	7	7	7
⑧外出するのが面倒	8	8	8
⑨子どもが大きくなって必要ない	9	9	9
⑩特に利用する必要性を感じない	10	10	10
⑪その他（具体的に)	11	11	11
⑫特に理由はない	12	12	12

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○はそれぞれ1つ）
 また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

【つどいの広場】

1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □ □回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ □回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

【子育て支援センター】

1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □ □回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ □回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

【児童館・児童交流館】

1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □ □回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に □回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ □回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問19 下記の事業で知っているもの（A）や、これまでに利用（参加）したことがあるもの（B）、今後、利用したいと思うもの（C）をお答えください。

（○は、①～⑧の事業ごとにA～Cのそれぞれについて1つ）

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①パパ・ママセミナー、離乳食教室 （保健センター）	1	2	1	2	1	2
②すくすく健康相談、子育て相談・ 療育相談（保健センター）	1	2	1	2	1	2
③家庭教育学級 （幼保園・認定こども園・幼稚園）	1	2	1	2	1	2
④家庭児童相談室（市役所）	1	2	1	2	1	2
⑤掛川市教育センター（大東支所内）	1	2	1	2	1	2
⑥子育て世代包括支援センター、 ふくしあ子育て相談（保健センター）	1	2	1	2	1	2
⑦子育てコンシェルジュ事業（市役所） ※0～3歳児を持つ家庭への相談窓口	1	2	1	2	1	2
⑧発達相談支援センター（のびる～む）	1	2	1	2	1	2

●宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○はそれぞれ1つ）

希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

- | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|----------------------|----------------------|-----|----------------------|----------------------|-----|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ 利用したい時間帯 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 時から | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | | | | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | | | | | |

（2）日曜・祝日

- | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|----------------------|----------------------|-----|----------------------|----------------------|-----|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ 利用したい時間帯 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 時から | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | | | | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | | | | | |

問20の（1）または（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも可）

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 月に数回仕事が入るため |) |
| 2. 私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）のため | |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. 子ども（兄弟・姉妹）の行事（学校や習い事）に参加するため | |
| 5. その他（ | |

「幼稚園（幼保園・認定こども園の幼稚園利用を含む）」を利用されている方にうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（○は1つ）

希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | | | | | | |
|---------------------|--------------|----------------------|----------------------|-----|----------------------|----------------------|-----|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ 利用したい時間帯 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 時から | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | | | | | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | | | | | | |

問21で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（○はいくつでも可）

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 週に数回仕事が入るため |) |
| 2. 私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）のため | |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 4. 子ども（兄弟・姉妹）の行事（学校や習い事）に参加するため | |
| 5. その他（ | |

●宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「1」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問24にお進みください。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで平日の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

1. あった 2. なかった

問23で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 その際、この1年間に行った対処方法を教えてください。（○はいくつでも可）

○をつけたものそれぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。（数字は一枠に一字）

1. 父親が仕事を休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 母親が仕事を休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
9. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

問22-1で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

（○は1つ）日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診及び医師連絡票等が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日

2. 利用したいとは思わない

3. よくわからない

問22-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問22-3 そう思われる理由は何ですか。（○はいくつでも可）

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
 2. 事業の内容に不安がある
 3. 事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
 4. 利用料がかかる・高い
 5. 利用料がわからない
 6. 親が仕事を休んで看ることがよいと思うから
 7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
 8. その他（）

問22-1で「3」から「9」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問22-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。(○は1つ)
「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 日

2. 休んで看することは非常に難しい

問22-4で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問22-5 そう思う理由を教えてください。(○はいくつでも可)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. 仕事が忙しくて休めない
5. その他 ()

●宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(○はいくつでも可)
また、それぞれの1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

- | | | | |
|--|----------------------|----------------------|---|
| 1. 一時預かり
(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ
(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 5. ベビーシッター | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |
| 6. その他 () | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 |

7. 利用していない

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも可)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 利用者が多く、利用したいときに利用できない
4. 事業の内容に不安がある
5. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料がわからない
8. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
9. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
10. その他 ()

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。（○は1つ）

1. 利用したい
2. 利用する必要はない

問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

→問24-1 目的ごとに、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。必要な日数を□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

※なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 | □ | □ | 日 |
| 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等 | □ | □ | 日 |
| 3. 不定期の就労 | □ | □ | 日 |
| 4. その他 () | □ | □ | 日 |

→問24-2 問24-1の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（○はいくつでも可）

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他 ()

問25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（○は1つ）
（預け先が見つからなかった場合も含みます）

1. あった
2. なかった

問25で「1. あった」と答えた方にうかがいます。

→問25-1 その際、この1年間の対処方法ごとの日数も□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった | □ | □ | 泊 |
| 2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した
(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業) | □ | □ | 泊 |
| 3. 2以外の保育事業(ベビーシッター等)を利用した | □ | □ | 泊 |
| 4. 仕方なく子どもを同行させた | □ | □ | 泊 |
| 5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | □ | □ | 泊 |
| 6. その他 () | □ | □ | 泊 |

問25-1で「1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

→問25-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。（○は1つ）

1. 非常に苦労した
2. どちらかというと苦労した
3. 特に苦労しなかった

●宛名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳以上）

⇒ 5歳未満の方は、問31へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも可）
それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室」・「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末（地域によって異なります）に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」・・・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも可）
それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後子ども教室」・「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末（地域によって異なります）に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」・・・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問26または問27で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問28 宛名のお子さんについて、具体的には何年生まで利用したいと思いますか。（○は1つ）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生まで利用したい
3. 5年生まで利用したい
4. 6年生まで利用したい

問29 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○はそれぞれ1つずつ）

また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生までは利用したい
3. 5年生までは利用したい
4. 6年生までは利用したい
5. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生までは利用したい
3. 5年生までは利用したい
4. 6年生までは利用したい
5. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

全員にうかがいます。

問30 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つ）

また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生までは利用したい
3. 5年生までは利用したい
4. 6年生までは利用したい
5. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

●幼児教育・保育の無償化について

問31 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、無償になる上限金額が定められていることや、0～2歳児は住民税非課税世帯のみが無償化の対象になることなど、無償化の内容を知っていますか。（○は1つ）

1. 無償化の内容を知っている
2. 無償化になることは知っているが内容は知らない
3. 無償化になることを知らない

問32 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、現在利用している方は、現在利用している教育・保育施設を継続して利用したいですか。それとも、異なる教育・保育施設を利用したいですか。現在利用していない方は、幼児教育・保育の無償化が実施された場合、新たに教育・保育施設を利用したいですか。（○は1つ）

1. 継続して利用したい
2. 異なる教育・保育施設を利用したい
3. 現在教育・保育施設を利用していないが、新たに教育・保育施設を利用したい
4. 現在教育・保育施設を利用しておらず、新たに教育・保育施設を利用は希望しない

問32で「2. 異なる教育・保育施設を利用したい」または「3. 現在教育・保育施設を利用していないが、新たに教育・保育施設を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

→問32-1 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、新たに利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも可）

1. 幼稚園（幼稚園部を含む、通常就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設
（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. 療育機関（めばえ・みなみめばえ 等）
13. その他（）
14. 利用希望はない

問32-1で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3」から「13」にも○をつけた方にうかがいます。

→問32-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1. はい
2. いいえ

問33 幼児教育・保育の無償化が実現したら、これにより子どもの人数を増やしたいと思いますか。（○は1つ）

1. あと1人増やしたい
2. あと2人増やしたい
3. 増やしたいとは思わない

●育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

母親、父親それぞれについてお答えください。

問34 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由を教えてください。

①母親 (○は1つ)	②父親 (○は1つ)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した (取得中である)	2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

↓ 取得していない理由

↓ 取得していない理由

①母親 (○はいくつでも可)	②父親 (○はいくつでも可)
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3. (育休後に) 仕事に戻るのが難しそうだった
4. (育休後に) 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 保育所 (園) などに預けることができた
7. 保育所 (園) などに預けることができた	7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. その他 ()
14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した	
15. その他 ()	

問34で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。

問34-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親 (○は1つ)	②父親 (○は1つ)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問34-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問34-2 育児休業から職場に復帰したのは、何月でしたか。□内に数字でご記入ください。

(数字は一桁に一字)

また、復帰とともに保育所に入所できましたか。(○は1つ)

①母親 (○は1つ)	②父親 (○は1つ)
□ □ 月 ⇒ { 1. 入所できた 2. 入所できなかった 3. 入所を希望しなかった	□ □ 月 ⇒ { 1. 入所できた 2. 入所できなかった 3. 入所を希望しなかった

●子育てに関する意識などについて

問35 子育てについて、日ごろ悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。
(○はいくつでも可)

①母親	①父親
1. 子どもの病気や発育・発達に関すること	1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること	2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 子育ての方法がよくわからないこと	3. 子育ての方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと	4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと	5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと	6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子育てにかかる費用が大きな負担になっていること	8. 子育てにかかる費用が大きな負担になっていること
9. 子どもの教育に関すること	9. 子どもの教育に関すること
10. 友達付き合い（いじめなど）に関すること	10. 友達付き合い（いじめなど）に関すること
11. 不登校に関すること	11. 不登校に関すること
12. その他（ ）	12. その他（ ）
13. 特になし	13. 特になし

問36 理想の子どもの人数は何人ですか。また、現在いる子どもを含めて、現実的に子育てが可能と思われる子どもの人数は何人ですか。□内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

理想の子どもの人数	<input type="text"/>	人	現実的に子育て可能な子どもの人数	<input type="text"/>	人
-----------	----------------------	---	------------------	----------------------	---

問36で理想の子どもの人数より、現実的に子育て可能な子どもの人数が少ない方にうかがいます。

問36-1 理想の子どもの人数よりも、現実的に子育て可能な子どもの人数が少ない理由は何ですか。
(○はいくつでも可)

1. 仕事と子育ての両立が難しいため
2. 自分達の自由な時間と育児は両立しないため
3. 子育ての心理的、肉体的負担を軽減するため
4. 子どもを欲しいが、年齢的に難しいため
5. 自分（配偶者）の健康上の理由
6. 末子が自分の定年までに成人しないため
7. 社会がたくさんの子どもを育てる状況ではないため
8. 子育てにかかる費用が大変なため
9. 家が狭いため
10. その他（ ）

問37 現在国が進めている「子ども・子育て支援新制度」においては、保育を必要としている子どもが認可保育所へ入所できない状況を解消するための施策が主に検討されています。認可保育所へ入所できない状況に対して掛川市がとるべき施策について、適切と考えるものは何ですか。
(○はいくつでも可)

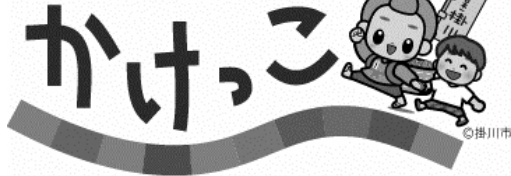
1. 認可保育所や認定こども園の増設	2. 幼稚園の認定こども園化の推進
3. 幼稚園の預かり保育の拡充	4. 認可外保育所の利用促進
5. 小規模保育所の増設	6. 事業所内保育施設の増設
7. 施設の整備をする必要は無い	8. その他（ ）

問38 掛川市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 満足度が高い | 2. やや満足度が高い |
| 3. どちらともいえない | 4. やや満足度が低い |
| 5. 満足度が低い | |

●掛川市子育て総合案内サイト「かけっこ」について

掛川市子育て総合案内サイト



URL: <https://kakegawa-kakekko.appspot.com>

↑ アクセスはこちら!!(掛川市公式 HP から OK)

掛川 かけっこ

検索



「かけっこ」は、市内の子育てイベントがわかる子育てカレンダーや生年月日から健診・予防接種情報を入手できたり、子育て施設を地図で調べることができる情報サイトです。

「かけっこ」を利用したことがない方は、是非ご活用ください。

問39 「かけっこ」を知っていますか。また、利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 知っていて、利用したことがある | 3. 知らない |
| 2. 知っているが、利用したことはない | |

問39で「1. 知っていて、利用したことがある」と回答した方にうかがいます。

問39-1 どの程度利用しますか。(数字は一桁に一字)

1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

問39-2 どんなメニューをよく使いますか。(○はいくつでも可)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 子育てカレンダー | 2. 健診・予防接種 |
| 3. 施設検索 | 4. 我が子の育ちの自己チェック |
| 5. 子育てアドバイス | 6. 子育て施策のご案内 |

問39で「2. 知っているが、利用したことはない」と回答した方にうかがいます。

問39-3 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも可)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 利用したい内容がない | 2. 子どもが大きくなって利用の必要がない |
| 3. 園に通っているため利用する必要がない | 4. その他(具体的に) |

問40 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、12月19日(水)までに
各園のクラス担任の先生へご提出ください。

掛川市内施設一覧

※調査票の問 15、16、32-1 で選択をする際の参考としてください。

※問 15 で選択番号 1 に該当する方で、預かり保育を定期的に利用している方は、調査票で「2」も選択してください。

	選択 番号	園 名	住所
私立認定こども園	4	掛川こども園	家代の里一丁目5-1
		こども広場あんり	本郷623-1
		くるみ幼稚園	中央二丁目18-5
		桜木こどもの森	家代1761-1
		子育てセンターとものもり	大池2305
		掛川中央幼保園	和光二丁目16-1
市立認定こども園	4	すこやかこども園	宮脇二丁目6-1
私立幼保園	1	子育てセンターひだまり 幼稚園部	杉谷南二丁目1-1
	3	子育てセンターひだまり 保育園部	
	1	子育てセンターさやのもり 幼稚園部	長谷1687-2
	3	子育てセンターさやのもり 保育園部	
市立幼稚園	1	さかがわ幼稚園	伊達方474-1
		三笠幼稚園	上西郷4116
		土方幼稚園	上土方320-1
		佐東幼稚園	小貫77
		中幼稚園	中3124
		大坂幼稚園	三俣239-1
		睦浜幼稚園	
		千浜幼稚園	千浜5870
		横須賀幼稚園	西大淵1010
		大淵幼稚園	大淵5935-6
私立幼稚園	1	智光幼稚園	仁藤町5-5
私立保育園	3	掛川聖マリア保育園	中央一丁目8-1
		葛ヶ丘保育園	葛ヶ丘三丁目4-1
		かけがわのぞみ保育園	杉谷南一丁目1-20
		すすかけっこ保育園	大池2956
		城東保育園	下土方1152-3
		千浜保育園	千浜4528-6
		大坂保育園	大坂2808-1
		よこすか保育園	横須賀1371-3
		おおぶち保育園	大淵4385-1
		掛川あそび保育園	岡津63-2
きらきら保育園	柳町36		
小規模保育	5	小さなお家ぼっぼ保育園	本所72-2
		モコ宮脇保育園	宮脇一丁目4-2
		きらきら保育園(分園)	中宿132
		きよさき保育園	清崎104-1
		桜木こどものへや	家代1761-1
		ちゅーりっぷ	沖之須1894-2
		掛川みなみ園	南二丁目16-12
協働保育所	8	大浜愛育園	浜川新田399-1
		掛川にじいろ保育園	上張925-8 プラザビル2F
事業所内保育所	7	ことり保育園(中東遠総合医療センター)	菖蒲ヶ池1-1
		さくら保育所(東病院)	杉谷南一丁目15-15
		北病院保育所	天王町29 ハウス児玉A-3
		QTPメロンハウス	上土方工業団地29-28
		カンガルーム掛川	下俣762-1

掛川市

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、平成27年度から5年間を一期とする「掛川市子ども・子育て支援事業計画」を策定し推進してきました。この計画が平成31年度に終了することから、新たに「第二期掛川市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市民の皆様の子育ての環境、教育・保育・子育て支援の現在の利用状況および今後の利用希望などを把握するために本調査を行います

この調査は、市内にお住まいの小学1～3年生のいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた1,500人の方にご協力をお願いするものです。

なお、お答えいただいた内容は、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございません。ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成30年12月
掛川市長 松井 三郎

◆◇ ご記入にあたってのお願い ◇◆

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. なるべく子育てをしているご家族が話し合ってお答えください。
3. ご記入にはおおむね20分程度かかります。
4. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合がございます。
5. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。（○は1つ）（○はいくつでも可）などの注意書きに従ってください。また、「その他」等をお選びいただいた場合はその後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
6. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)でご記入ください。
7. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
8. 記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、平成30年12月19日(水)までに学校のクラス担任の先生へ提出してください。
9. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

回答するに当たってお読みください

掛川市では、平成 27 年度（2015 年度）から子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間で一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています。

本調査は、2020 年度を始期とする第二期計画で、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を掛川市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

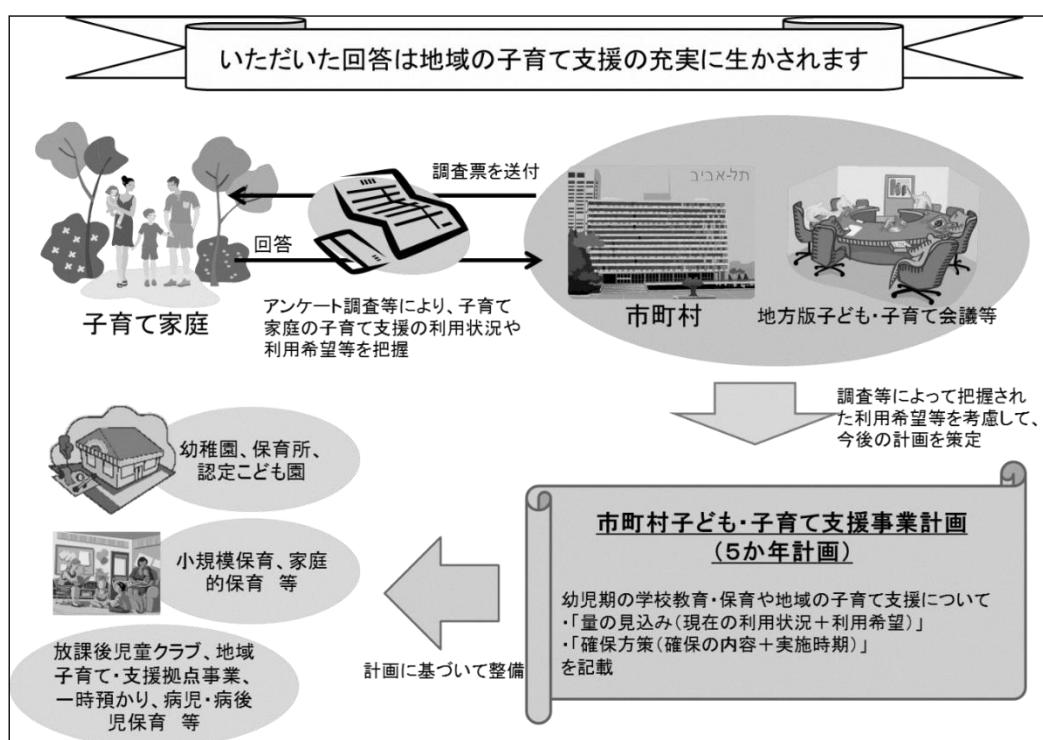
なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。この制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者の子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。



●お住まいの地域について

問1 お住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

1. 第一小学校区・中央小学校区
2. 上内田小学校区・西山口小学校区
3. 第二小学校区・曾我小学校区
4. 西郷小学校区・城北小学校区・倉真小学校区
5. 日坂小学校区・東山口小学校区
6. 桜木小学校区・和田岡小学校区・原田小学校区・原谷小学校区
7. 千浜小学校区・大坂小学校区・土方小学校区・佐東小学校区・中小小学校区
8. 横須賀小学校区・大淵小学校区
9. わからない(具体的に: _____)

●封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの現在の学年を教えてください。(数字は一桁に一字)

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。※宛名のお子さんが末子の場合もご記入ください。(数字は一桁に一字)

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 宛名のお子さんと同居・近居(普段よく使う交通手段で概ね30分以内程度で行き来できる範囲)の状況を教えてください。(○はいくつでも可)※例)祖父母同居の場合は4、5にも○

- | | | | |
|----------------------|--------------------|--------------------|------------|
| 1. 父母同居
(単身赴任者含む) | 2. 父同居
(ひとり親家庭) | 3. 母同居
(ひとり親家庭) | 4. 祖父同居 |
| 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 | 7. 祖母近居 | 8. その他 () |

問5 この調査票にご回答いただいている方を教えてください。(○は1つ)
※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)
※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | | | |

●子どもの育つ環境について

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。
(○はいくつでも可)※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

- | | | | |
|----------|------------|-------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 小学校 | 6. その他 () | | |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。
（○はいくつでも可）

1. 家庭
2. 地域
3. 小学校
4. その他（ ）

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（○はいくつでも可）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問10で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。
（○はいくつでも可）

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況を教えてください。（○はいくつでも可）

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。
（○は1つ）

1. はい
2. いいえ

問11で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（○はいくつでも可）

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 学校の先生 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 |
| 9. 子育て関連担当窓口 | 10. その他（ ） |

●宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(1) で「1」から「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

→ (1) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む、休憩休息時間を含まない）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（数字は一桁に一字）

1週当たり 日 1日当たり 時間

→ (1) -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

（数字は一桁に一字）

家を出る時刻 時台 帰宅時刻 時台

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】（○は1つ）

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(2) で「1」から「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

→ (2) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む、休憩休息時間を含まない）」をお答えください。

就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（数字は一桁に一字）

1週当たり 日 1日当たり 時間

→ (2) -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

（数字は一桁に一字）

家を出る時刻 時台 帰宅時刻 時台

問12の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問14へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問15へお進みください。

問14 就労したいという希望はありますか。(○はそれぞれ1つ)

該当する□内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→(1)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等
⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→(2)-1 希望する就労形態を教えてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等
⇒ 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間

●宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問15 宛名のお子さんは、現在、「児童館（大東児童館・大須賀児童館）・児童交流館（掛川児童交流館）」を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している
2. 利用していない

問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

→問15-1 おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1週当たり □ 日

問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

→問15-2 利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも可）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 場所が遠いので利用しづらい | 2. 開催時間や日数が利用しづらい |
| 3. 知人がいないので行きづらい | 4. 知らなかった |
| 5. 利用する時間がない | 6. 利用の仕方がわからない |
| 7. 親同士の付き合いがわずらわしい | 8. 外出するのが面倒 |
| 9. 子どもが大きくなって必要ない | 10. 特に利用する必要性を感じない |
| 11. その他（具体的に □ ） | 12. 特に理由はない |

問16 児童館・児童交流館について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）

また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ □ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に □ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に □ □ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問17 下記の事業で知っているもの（A）や、これまでに利用したことがあるもの（B）、今後、利用（参加）したいと思うもの（C）をお答えください。

（○は、①～③の事業ごとにA～Cそれぞれ1つ）

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
① 家庭教育学級 （幼保園・認定こども園・幼稚園）	1	2	1	2	1	2
② 家庭児童相談室（市役所）	1	2	1	2	1	2
③ 掛川市教育センター（大東支所内）	1	2	1	2	1	2

●宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問18 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていましたか。または、過ごさせたいと思いますか。
 （○はいくつでも可）それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
 また、「放課後子ども教室」・「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。
 （数字は一枠に一字）

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末（地域によって異なります）に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問19 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも可）
 それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。
 また、「放課後子ども教室」・「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。
 （数字は一枠に一字）

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末（地域によって異なります）に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問18または問19で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、具体的には何年生まで利用したいと思いますか。（○は1つ）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生まで利用したい
3. 5年生まで利用したい
4. 6年生まで利用したい

問21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つずつ）

また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。
（数字は一枠に一字）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生までは利用したい
3. 5年生までは利用したい
4. 6年生までは利用したい
5. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生までは利用したい
3. 5年生までは利用したい
4. 6年生までは利用したい
5. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

すべての方にうかがいます。

問22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（○は1つ）

また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。
（数字は一枠に一字）

※なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 4年生までは利用したい
3. 5年生までは利用したい
4. 6年生までは利用したい
5. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで

●育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

母親、父親それぞれについてお答えください。

問23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

また、取得していない方はその理由を教えてください。

①母親 (○は1つ)	②父親 (○は1つ)
1. 働いていなかった 2. 取得した 3. 取得していない	1. 働いていなかった 2. 取得した 3. 取得していない
↓ 取得していない理由	↓ 取得していない理由
①母親 (○はいくつでも可)	②父親 (○はいくつでも可)
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. (育休後に) 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所(園)などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他()	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (育休後に) 仕事に戻るのが難しそうだった 4. 昇給・昇格などが遅れそうだった 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる 6. 保育所(園)などに預けることができた 7. 配偶者が育児休業制度を利用した 8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 子育てや家事に専念するため退職した 10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 12. 育児休業を取得できることを知らなかった 13. その他()

問23で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

問23-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親 (○は1つ)	②父親 (○は1つ)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問23-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問23-2 育児休業から職場に復帰したのは、何月でしたか。□内に数字でご記入ください。

(数字は一桁に一字)

また、復帰とともに保育所に入所できましたか。(○は1つ)

①母親 (○は1つ)	②父親 (○は1つ)
□ □ 月 ⇒ { 1. 入所できた 2. 入所できなかった 3. 入所を希望しなかった	□ □ 月 ⇒ { 1. 入所できた 2. 入所できなかった 3. 入所を希望しなかった

●子育てに関する意識などについて

問24 子育てについて、日ごろ悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。
(○はいくつでも可)

①母親	①父親
1. 子どもの病気や発育・発達に関する事	1. 子どもの病気や発育・発達に関する事
2. 子どもの食事や栄養に関する事	2. 子どもの食事や栄養に関する事
3. 子育ての方法がよくわからない事	3. 子育ての方法がよくわからない事
4. 子どもとの接し方に自信が持てない事	4. 子どもとの接し方に自信が持てない事
5. 子どもとの時間を十分にとれない事	5. 子どもとの時間を十分にとれない事
6. 話し相手や相談相手がない事	6. 話し相手や相談相手がない事
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできない事	7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできない事
8. 子育てにかかる費用が大きな負担になっている事	8. 子育てにかかる費用が大きな負担になっている事
9. 子どもの教育に関する事	9. 子どもの教育に関する事
10. 友達付き合い(いじめなど)に関する事	10. 友達付き合い(いじめなど)に関する事
11. 不登校に関する事	11. 不登校に関する事
12. その他()	12. その他()
13. 特になし	13. 特になし

問25 理想の子どもの人数は何人ですか。また、現在いる子どもを含めて、現実的に子育てが可能と思われる子どもの人数は何人ですか。(数字は一桁に一字)

理想の子どもの人数 <input type="text"/> 人	現実的に子育て可能な子どもの人数 <input type="text"/> 人
----------------------------------	---

問25で理想の子どもの人数より、現実的に子育て可能な子どもの人数が少ない方にうかがいます。

問25-1 理想の子どもの人数よりも、現実的に子育て可能な子どもの人数が少ない理由は何ですか。
(○はいくつでも可)

1. 仕事と子育ての両立が難しいため	2. 自分達の自由な時間と育児は両立しないため
3. 子育ての心理的、肉体的負担を軽減するため	4. 子どもを欲しいが、年齢的に難しいため
5. 自分(配偶者)の健康上の理由	6. 末子が自分の定年までに成人しないため
7. 社会がたくさんの子どもを育てる状況ではないため	8. 子育てにかかる費用が大変なため
9. 家が狭いため	10. その他()

問26 掛川市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(○は1つ)

1. 満足度が高い	2. やや満足度が高い
3. どちらともいえない	4. やや満足度が低い
5. 満足度が低い	

問27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
同封の返信用封筒に入れて、12月19日(水)までに
各学校のクラス担任の先生へご提出ください。